

都市環境学科の人材養成の目的

【学部の人材養成の目的】

工学部は、人と自然環境に調和した新しい科学技術の創造と豊かな社会の構築を目指すため、幅広い教養と倫理観及びコミュニケーション力からなる基盤能力とそれぞれの分野における高度な専門能力を兼ね備え、独自の発想で課題を解決できる人材を養成することを目的とする。

【学科の人材養成の目的】

都市環境学科では、社会生活を送るうえで必要となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力の修得のもとに、土木と環境に関わる工学分野の基礎的な知識及び基本的な技術、また、土木と環境に関わる工学の専門職として生涯成長し続けるための基盤となる生涯学習能力を有し、地域社会における関係者と連携・協働して、社会インフラの充実、防災・減災機能の向上、自然環境の保全に寄与できる次のような人材を養成する。

- ①環境と調和した社会について調査・提案することのできる技術者
- ②インフラ構造物の設計・施工に携わる専門性を備えた技術者
- ③良質な都市空間を維持・管理するために、さまざまな意見を総合的に調整できる技術者

都市環境学科ディプロマ・ポリシー

都市環境学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を授与します。

1. コミュニケーション力

論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、文化やバックグラウンドが異なるコミュニティとの交流・情報交換や、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。

2. 課題発見解決力

直面する問題を科学的かつ論理的に分析して課題を整理・説明する能力を有し、他者に働きかけ協力を得ながら解決案を構築し提案することができる。

3. 自らを律し、学び続ける力

目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、工学に関連する知識・技術を、自主的かつ継続的に学習することができる。

4. 多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力

持続可能な社会の実現に向けた科学技術の役割と責任を理解し、多様性を尊重しながら他者との共生に向けた行動をとることができる。

5. 専門的知識・技能を修得し、実践する力

専門知識や工学ツールを用いた構造物設計等について理解し、社会インフラの充実や防災・減災機能の向上に寄与できる。

6. 総合力

土木・環境に関する専門知識と技術を活用して、実務的な課題を解決することができる。

都市環境学科カリキュラム・ポリシー

都市環境学科では、HUS スタンダード科目、学部共通科目、専門教育科目の有機的な結合によって、土木技術者としての専門能力と専攻分野を通じて学士力を培うことを目指したカリキュラムを設計します。このことを明確にするために、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性・関連性を体系的に理解できるようカリキュラム・ツリーを作成します。さらに、教員団はその組織的関与により、常にカリキュラムの点検評価、及び改善を行います。学修成果やカリキュラムの点検評価の方針をアセスメント・ポリシーとしてまとめています。

1. 基盤能力の修得に向けて①コミュニケーション力、②課題発見解決力、③自らを律し、学び続ける力、④多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力を養う HUS スタンダード科目を配置します。
2. 専攻分野に必要な基本スキルを育成するための HUS スタンダード科目、学部共通科目を配置し、領域ごとに最適化された専門知識・技能修得のための専門教育科目を配置します。
3. 基盤能力と専門的知識・技能に関連する科目を体系的、効率的に修得できるよう配置します。
4. 自ら学ぶ力の醸成や能動的学修をサポートするため、充実した学内 LAN 環境、e-learning 環境などの優れた IT 環境を提供します。
5. 現代社会のニーズに対応する力を育成するため、最新かつ高度な知識及び技能を学ぶ専門教育科目を配置します。
6. 土木技術者として、協力・協調する姿勢と自ら課題を発見し、問題を解決する能力を育成するため、現実的な課題を題材とした教材を開発し、少人数グループで行う演習科目、実験科目を実施します。
7. アクティブラーニング要素を取り入れた演習科目により、実践的能力と自律的学習能力を養成します。
8. 各授業科目の成績評価については、成績評価ガイドラインに則り、厳格かつ公正に行います。
9. 学生の学修成果については、アセスメントプランに定めた方法及び収集した情報に則り、評価します。

都市環境学科 アドミッション・ポリシー

① 基本方針

人類が安全・安心で快適に暮らしていくためには、自然環境を豊かに保ちながら、生活の基盤となる社会インフラを整備・維持していくことが求められています。

都市環境学科では、土木技術と自然環境に対する基礎知識を学び、積雪寒冷地の社会条件、構造物と環境の共生、自然災害に対する防災・減災、構造物の長寿命化、省資源・省エネルギー等、社会が直面する様々な条件を調整しながら人類が安全・安心で快適に暮らしていくための社会を形成する技術についての教育・研究を行います。

そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
安全・安心・快適な都市空間の実現に貢献しようと意欲を持つ人	△	○	◎
インフラ構造物に関わる実践的エンジニアを志す人	◎	△	○
生涯にわたり、自らの能力を高めようとする意欲のある人	△	○	◎
土木工学を学ぶための基礎学力を有し高い勉学意欲のある人	◎	○	△

③ 学力の3要素と求める多元的な評価

学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
知識・技能	学力試験	調査書	発表
思考力・判断力・表現力	学力試験	調査書	発表
主体性・多様性・協働性	推薦書	面接	自己推薦書
		推薦書	面接
		課題提出	面接
			口頭試問

④ 入学者選抜方法における評価の比重

入学者選抜方法	学力試験	調査書	発表	課題提出	推薦書	面接	自己推薦書	口頭試問
総合型選抜	△	—	◎	—	—	○	△	—
学校推薦型選抜(系列校)	—	○	—	○	○	◎	—	△
学校推薦型選抜(指定校)	—	○	—	—	○	◎	○	△
学校推薦型選抜(公募)	△	△	—	—	○	◎	○	—
自己推薦型選抜	○	△	—	—	—	◎	○	—
一般選抜[前期・後期学力型]	◎	—	—	—	—	—	—	—
一般選抜[後期総合評価型]	◎	△	—	—	—	○	—	—
一般選抜(共通テスト利用選抜)	◎	—	—	—	—	—	—	—
外国人留学生選抜	○	—	—	—	—	◎	—	—

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・社会における諸問題を解決するため、幅広い分野の基礎知識を習得していること。
- ・高等学校等において、明確な目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢を経験していること。
- ・土木工学を中心とする学士課程教育を学ぶための必要な基礎学力(国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民)を有するとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、基礎的な事象においては、論理的に考察し、処理する能力を有していること。

※記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。